

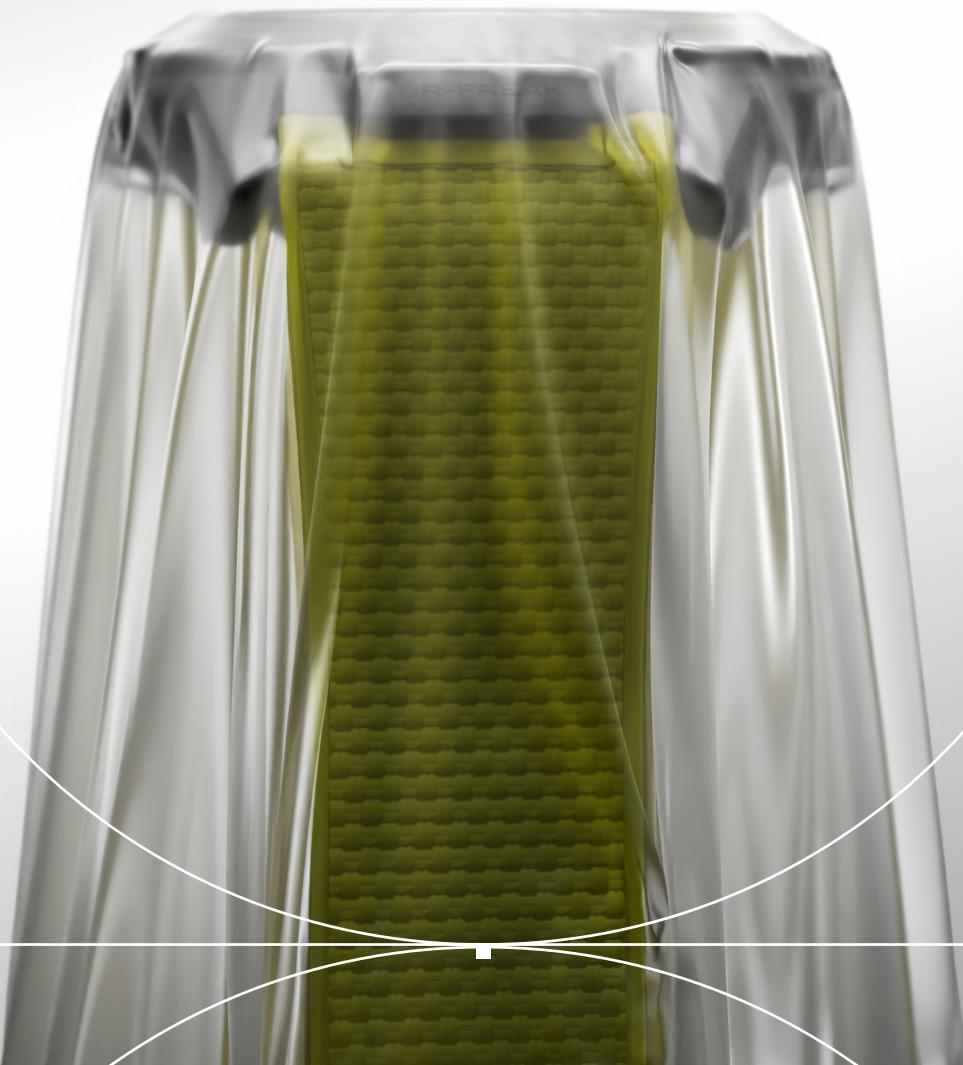
URWERK®
BY BAUMGARTNER + FREI

ULYSSE NARDIN

UR-FREAK

現代時計製造の先駆者たちの対峙
ウルベルクとユリス・ナルダンによる機械学と創造性の融合

プレス解禁日時：2025年11月19日 | ドバイ時間 午後9時 | ジュネーブ時間午後6時 | ニューヨーク時間 午後12時



UR-FREAK

概要

UR-FREAKは、現代時計製造における最も重要な偉業の一つであるユリス・ナルダンのフリークを新たに解釈したリミテッドエディションです。UR-FREAKは、2つの先駆的な独立系スイス時計メーカーによる、創造的精神のコラボレーションです。それぞれの分野で先駆者たるウルベルクとユリス・ナルダンが初めてタッグを組み、UR-FREAKが誕生しました。

ウルベルクとユリス・ナルダンの初のコラボレーション。

機構がデザインを定義する:ウルベルクのアイコニックな「ワンダリングアワーサテライト」とユリス・ナルダン「フリーク」の融合。

ユリス・ナルダンのフリークはムーブメントを回転させて時刻を表示します。一方、ウルベルクのサテライト式時刻表示機構は、機械の常識を覆し、時間そのものの認識を変えました。今、2つの複雑機構が融合し、一つの、完全統合型自社製キャリバーが誕生しました。

サテライト時刻表示を備え、3時間回転カルーセルを搭載した新開発の完全統合型自社製ムーブメント。

最先端技術: 2001年に他の時計メーカーに先駆けて、ユリス・ナルダンが初めて導入したグラインダー®システム、ダイヤモンシリ (DIAMonSil) 、シリコン技術の結集。

100本のみの特別限定モデル。



PART ·1



革新的なコラボレー ションの誕生

URWERK® × ULYSSE NARDIN



2000年代のテクノロジー・オプティミズムと、世界がこれまで見たことのない高度な時計機構の融合

UR-FREAKは、最先端のユリス・ナルダン「フリーク」の技術力・性能と、ジュネーブの革新的な時計メーカーであるウルベルクが確立した「サテライト」ディスプレイシステムを融合させた時計です。UR-FREAKは2025年のリリースですが、その物語は今から約30年前、現代高級時計が成熟し、人々の憧れの的となった時代の始まりに遡ります。

わずか4年の間に、2つの出来事がありました。1997年、フェリックス・バウムガルトナーとマーティン・フレイによってウルベルクが創始し、2001年には、ユリス・ナルダンの初代フリークが誕生しました。ユリス・ナルダンの創業は1846年に遡りますが、1980年代から、同メゾンは腕時計のテクノロジーとデザインにおいて、驚くほど斬新で現代的なスタイルへの投資を開始しました。1990年代後半から2000年代初頭は、伝統的な時計製造業界にとって激動の時代となりました。アーティストや起業家たちにとっても、今日の高度時計製造の恩恵を突然手にすることことができた、刺激的な時代でした。

ビジネスの観点から見ると、類似した技術と素材を用いた製品作りに注力してきた伝統的な時計産業にとって、この時代は再生の意味を持ちました。新しい思考を持つ人材が、コンピューター支援設計ソフトウェア、現代的なフライス加工や機械加工技術、従来の金属や合金よりも優れた性能と利点をもたらす新素材といった先進的なツールを携えてこの分野に参入したのです。

この新たな発想の持ち主たちは、シンプルな使命を掲げていました。伝統的な高級機械式時計製造の情熱と美しさを継承しつつ、現代的な形態と機能を取り入れ、同時に現代的なデザインを強調すること。既に確立された時計製造の巨頭たちと肩を並べるためには、挑戦者たちは従来の考え方や規範を見直す必要がありました。こうした背景から、ユリス・ナルダンは常にフリークのプラットフォームを「手首の上の実験室」と位置づけてきました。革新的形状・素材・技術を探求するため、小さいながらも大きな影響力を持つ空間。その目標は常に、伝統を尊重しつつ古典的概念に挑戦することです。

同様に、ウルベルクは時計製造における明確な未来的解釈を掲げて設立されました。彼らは既存の複雑機構を単に再解釈することを拒み、彼らの創造性は、唯一無二の方法で構想された独自の作品として結実しました。まさに前衛的なマニフェストと言えるでしょう。ウルベルクの時計は単に時刻を告げる道具ではなく、既存の時計製造の境界を押し広げ、挑戦し、そして最終的に超越するために設計された概念的機構なのです。

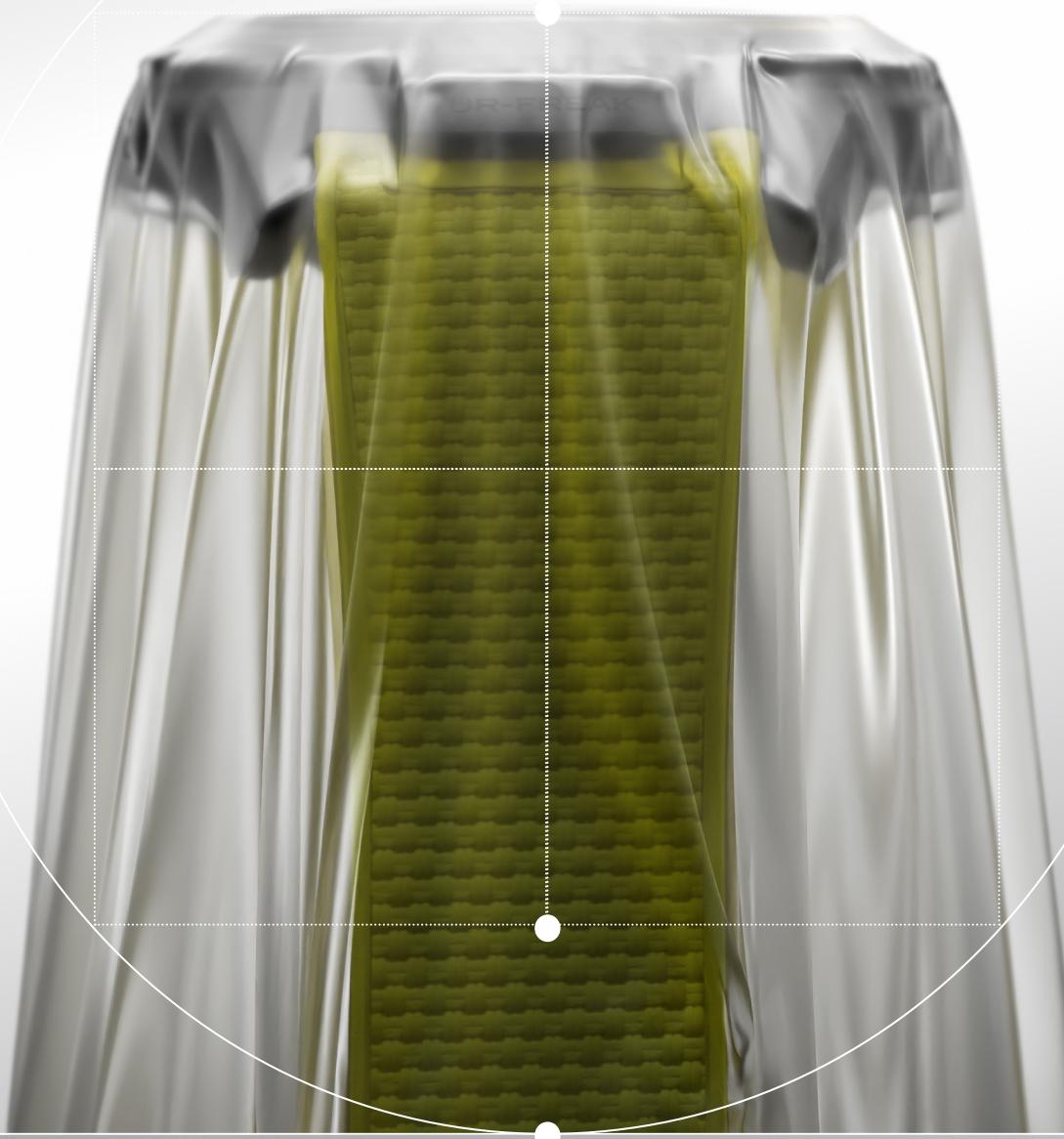
2001年、革新的精神の持ち主であるロルフ・シュニーダー率いるユリス・ナルダンは、既存の定義の枠を超越しているがゆえに「フリーク」としか呼びようのない画期的な新コンセプトを発表しまし



た。この「フリーク」は、高級時計の仕組みや技術に対する人々の認識を変えただけでなく、当時の時計製造において斬新な素材であったシリコンを採用した点でも大きな意義がありました。当時、ユリス・ナルダンの技術責任者であったビエール・ギガックスは、コンピューター用マイクロチップの製造技術を機械式ムーブメント部品の製造に応用するという、非常に困難な課題に取り組みました。天才時計職人ルードヴィヒ・エクスリン博士と密に連携し、ユリス・ナルダンは、従来金属で製造されていた主要部品の一部を、半金属であるシリコン製の新部品で置き換える機械式時計ムーブメントの開発を目指しました。2006年、同社は自社マイクロメカニカル研究所「シガテック」を設立しました。2001年、ユリス・ナルダンのチームは時計製造におけるシリコンの優れた用途に確信を持ち、フリークの文字盤に大胆にその革新性を盛り込んだのです。これは伝統を重んじる人々にとって、衝撃的な出来事でした。時計の分針は、テン輪や脱進機といった部品がシリコンで作られ、その動きを視覚的に表現する歯車列を兼ねるものでした。2001年以降、ユリス・ナルダンはフリークの改良を重ね続けました。これまで製作されたのはわずか数千本ですが、発表から約25年を経て、フリークは大きく進化を遂げてきました。今、フリークは新たな章を迎え、その象徴的なディスプレイが、さらに別の象徴的なディスプレイへと置き換えるのです。



独立性を称えるコラ
ボレーション





独立系ブランド間の新たな関係性

本来なら競合関係にある時計メーカー同士のコラボレーションは、実は約30年前の現代高級時計時代の初期にまで遡ります。実際には、高度な時計のほとんどが、実現のために複数の専門家の技量と才能を必要とします。つまり、舞台裏では共同作業はすでに一般的であり、これを公開することで透明性が高まり、ファンやコレクターは、彼らが愛用する美しい時計を生み出している世界をより深く理解し、堪能できるようになります。

高級時計分野におけるコラボレーションは、多くの革新的なアイデアが生まれる場でもあります。複数の独立した才能がもたらす先駆的なコンセプトは、しばしば前衛的な作品やコンセプトを生み出し、時計職人とコレクターの双方にインスピレーションを与えます。ユリス・ナルダンは、自社チームとコラボレーターを常に鼓舞し、これまで可能と考えられていた限界を押し広げ、世界で最も要求水準の高いコレクターや愛好家のため最先端の製品を生み出してきました。

ユリス・ナルダンとウルベルクは、コラボレーションには馴染み深い存在ではありますが、今回のUR-FREAKの誕生以前には一度も共同製作を行ったことはありません。実際、ユリス・ナルダンが他の時計ブランドとコラボレーションするのは、今回が初めてです。ユリス・ナルダンは、前述のルートヴィヒ・エクスリン博士のような著名人と、数十年にわたり積極的に共同作業を行ってきました。ウルベルクは、常にコラボレーションをアイデンティティの中心に据えてきました。このブランドは、時計職人フェリックス・バウムガルトナーとデザイナーのマーティン・フレイという、互いに補完し合う2人のビジョンが出会ったことから誕生しました。彼らの融合は、卓越した技術と大胆なコンセプトを結びつけ、画期的なメカニズムだけでなく、美的言語においても根本的に異なる時計を生み出しました。2人の協力によって、ウルベルクは現代時計製造において最も独創的な存在の一つとなり、独立系メゾンの在り方を再定義しました。

ユリス・ナルダンとウルベルクは共に、この強力なチームワークの伝統を引き継ぎ、その結果生まれたUR-FREAKは、独立性を称えるために互いの最高のものを融合させた特別な作品です。

「独立」という一つの概念でつながる異なる世界

ユリス・ナルダンとウルベルクは、それぞれ独自の世界観と個性を表現しながら、現代のスイス高級時計業界において確固たる地位を築いています。両社はそれぞれ独立性を表現していますが、「独立性」の核となる定義は共通しており、それは「自由」に等しいものです。ウルベルクは、創設者のマーティン・フレイとフェリックス・バウムガルトナーが提唱する、唯一無二の製品とデザインビジョンを推進するために、意図的に小規模な体制を保っています。ウルベルクにとって、独立とは、妥協をせず、第三者の気まぐれに左右されることなく、限りなく芸術的な探求を追求することを意味します。ユリス・ナルダンにおいて、独立した自由とは、自分たちが選択したあらゆる技術的プロジェクト、製造プロジェクトに専念できる能力として現れています。ユリス・ナルダンは、ますます印象的な機械式ムーブメントの設計だけでなく、そのような素晴らしい機械を作るための技術や産業知識の開発にも力を入れています。ウルベルクとユリス・ナルダンの「独立性」の定義は、創造的なインスピレーションとはトレンドを追うのではなく、社内から生まれるべきであるという点で一致しています。また、独立性によって時計職人は、野心的な目標の実現に向けて、集中した長期的な道を歩むことができるという点でも一致しています。したがって、独立性によって、これらの注目すべき時計メーカーは、誰と、なぜ共に仕事をするのかを選択することができるのです。最高の時計のコラボレーションは、二つの強力な独立した存在が、その関係に深く投資できる“完全な自由”を手にしているときに生まれます。そして、UR-FREAKがまさにその成果なのです。

真の技術的コラボレーション

ユリス・ナルダンとウルベルクの関係性は、今日の高級時計業界における他の多くの創造的コラボレーションとは一線を画すものと言えます。多くの場合、コラボレーションは斬新ではあるものの、既存の時計製品に表面的な変更を加えるに留まります。しかし、ユリス・ナルダンとウルベルクのような技術的コラボレーションは、全く新しい機械式システムを生み出しました。したがって、UR-FREAKは両ブランドのDNA要素を融合させただけでなく、二つのスイスの匠が共同開発した全く新しい機械式ムーブメントを提示しています。象徴的なユリス・ナルダン「フリーク」のレガシーに触れ、ウルベルクはその特徴であるサテライト時刻表示システムを、ユリス・ナルダンの自社製シリコン部品の専門技術と融合させることを目指しました。そして両者は共に、いまだかつて見たことのない、しかし両者の世界に優雅に溶け合う全く新しいシステムを創り上げました。UR-FREAKは、時計業界がユリス・ナルダンとウルベルクに認めるそれぞれの価値観を等しく体現する、他に類を見ないバランスの取れたコラボレーションウォッチです。両ブランドにとって、UR-FREAKは双方の魅力を融合させ、多くの人々にまだ知られていない両ブランドの共通点を時計愛好家に示している点で、成功したコラボレーションと言えるでしょう。



PART · 3

UR-FREAK



THE WATCH:

UR-FREAK



UR-FREAK

クロスオーバーとコラボレーションの精神が現代の高級時計製造文化に深く根付いた今、この極めてエクスクルーシブなクリエーションコンセプトは、時計愛好家やコレクターに早々に理解されることでしょう。ユリス・ナルダンとウルベルクにとって、UR-FREAKは前衛的なフリークのコンセプトと革新的なウルベルクの時刻表示の完璧な融合です。この精神は、専門的なノウハウとそれぞれの独自の技術を融合させ、これまで想像もできなかった新しいデザインとコンセプトを生み出したいという強い思いによって支えられています。

機構がデザインを定義する

フリークはムーブメント全体が回転して時刻を示し、一方、ユルベルクのサテライト式時刻表示は、機械の常識を覆し、時間そのものの捉え方を変えました。今、2つの複雑機構が融合し、一つの、完全統合型自社製キャリバーが誕生しました。

このエンジニアリングの驚異を製作するにあたり、特徴的なワンダーリングアワーサテライトディスプレイとケースのベゼルデザインを実現すべく、150点以上の全く新しい部品が開発されました。時刻は3本の連結された針のうちの1本によって表示されます。アクリティブの針が文字盤右側のミニッツスケール上をスライドします。各針にはジャンピングアワーディスプレイとして機能する回転ドーム型ディスクが備わっています。回転カルーセルに運動した現在の時間が60分目盛りスケール上を移動し終えると、アワーディスクが切り替わり、次の針がミニッツトラックの起点から移動を開始し、次の時を読み取れる状態になります。中心部にはシリコンベースのバランスホイール・オシレーターと脱進機ユニットが配置されています。これらはサテライトシステムと共に回転し、3時間ごとに1回転します。従来のトゥールビヨンやカルーセルの仕組みと同様に、UR-FREAKの継続的な方位変化が計時誤差の低減に一役買っています。

UR-FREAKは、幅44mmのユリス・ナルダン「フリークONE」のケースをベースに、ウルベルク特有の深みのあるアンスラサイトグレーカラーのサンドブラスト加工を施したチタンを採用してい

ます。このベースに、ウルベルクを象徴するデザイン要素が加わり、作品の魅力をさらに高めています。例えば、チタン製の回転ベゼルとケースバックには、ウルベルクの特徴的なデザイン要素である3箇所のフルーテッド加工が施されています。さらに、チタンの色合いにアクセントを加えているのは、ウルベルクを象徴するエレクトリックイエロー (Pantone 395 C) です。この鮮やかな色が、サテライトポインター、インデックス、そしてビスボーグフィットのラバーストラップを引き立てます。

ユリス・ナルダン「フリーク」を最もよく表す特徴の一つに、従来のリューズを持たないという点があります。UR-FREAKも同様にリューズを備えておらず、これにより手首に装着した際の洗練されたストリームラインの美観がさらに際立ちます。フリークコレクションの時計は通常、リューズの代わりに回転ベゼルとケースバックの両方を採用しています。ケースの6時位置にある「ロッカー」と呼ばれる小さなタブが、ベゼルを使用していない際にしっかりと固定します。この限定モデルには特別な「UR-FREAK」のラベルが施されています。ロッカーを引き上げるとベゼルが自由に回転し、その動作によって針が動いて時刻調整が可能となります。UR-FREAKはグラインダー®ベースの自動巻きシステムを採用していますが、UN-241ムーブメントはケースバックを回すことで手巻きも可能です。スライド式パーツのサンドイッチ構造から成るにもかかわらず、UR-FREAKのケースは30メートルの防水性能を備えています。



エンジニアリングの驚異

ウルベルク設計のワンドリングアワーサテライトディスプレイを支える機械式システムは、ユリス・ナルダンが新たに開発した自社製キャリバーUN-241ムーブメントです。このムーブメントは、単一の完全統合型自社製キャリバーとして誕生しました。GPHGの受賞歴を誇る象徴的なフリークONEのUN-240キャリバーをベースに、20年以上にわたるノウハウと革新性を注ぎ込んだこのムーブメントは、非常に装着しやすいケースに収められ、バランスの取れた性能と現代性を見事に融合しています。シリコン製オシレーターは3Hzの振動数で動作し、90時間という優れたパワーリザーブを実現しています。

多くのムーブメントがオシレーターを裏側に隠す設計であるなか、フリークは常に鼓動する心臓部を表側に配置してきました。この新たなデザインでは、オシレーターが中央に据えられています。高度なシリコン技術により、標準モデルより25%大きく設計されています。視覚的インパクトを最大化しつつスペースを節約するため、オシレーターは回転するアワーサテライト上部の中心位置に配置されました。この独自のレイアウトは、従来の段階的な時計製造アプローチから脱却し、ムーブメントと文字盤を同時に設計することで初めて実現し、形と機能が一体となって構想されました。



先駆的テクノロジー

この自動巻きシステムは、ユリス・ナルダンのフリークONEおよびフリークSモデルを除き、他のどの時計にも搭載されていない独自の機構です。ユリス・ナルダンはこのシステムを「グラインダー®」と呼んでいますが、これは機構の仕組みをそのまま表現しています。ほとんどの自動巻き機構は、主ゼンマイに動力を供給する前に一定の力と動きを必要とする可動式の錘に依存しているのに対し、グラインダー®はごくわずかな動きさえも運動エネルギーに変換することで、従来システムの巻き上げ効率を飛躍的に向上させます。グラインダー®は独自のシステムであるだけでなく、数十年ぶりに自動巻き機構の効率を真に向上させた革新的な技術もあります。

シリコン＝ユリス・ナルダンが初めて導入した、現代時計製造における革新的な素材

2001年以降、ユリス・ナルダンはフリークのために20件以上の特許を出願し、シリコンの専門家かつ製造者としての地位を確立しています。同社は2001年に初代フリークを発表した際、半金属であるシリコンを時計製造に初めて採用しました。シリコンが従来の金属に代わる有用な代替素材となるのには、いくつかの理由があります。この天然元素は、従来の金属部品に深刻な問題を引き起こす可能性のある温度変動や磁場などの環境変化に耐性があります。また、効率性と長期性能を求める時計メーカーにとって共通の課題である、極めて低い摩擦特性という利点も備えています。シリコン部品は非常に長期間使用可能で、従来の潤滑方法も不要です。これにより必要なメンテナンス間隔がさらに延び、所有者の満足度向上に寄与します。

ユリス・ナルダンが時計製造における素材としてシリコンの研究を始めた当初、その加工には非常に高いコストがかかり、伝統的な時計製造への応用は困難を極めました。しかし、その性能面での利点に対する期待は、この先駆的なスイス企業にとって懸念をはるかに上回り、この素材の開発と機械式時計のムーブメントへの応用に多大な投資を行ったのです。

ユリス・ナルダンの発明の一つに、ダイヤモンシリ（DIAMonSil）と呼ばれる素材があります。その名が示唆するように、これはダイヤモンドでコーティングされたシリコン素材です。このコーティングにより、シリコンの脆さを補う重要な耐久性層が加わります。こうした部品は常に大きな力にさらされるためです。ユリス・ナルダン以外、時計にDIAMonSil技術を搭載できる時計メーカーは存在しません。今日では、主要な時計メーカーのほとんどが、少なくとも主力製品の一部にシリコンを採用しています。

UR-FREAK

[2025]



UR-101
[1997]



UR-100
SPACETIME
[2019]



UR-100V
ULTRAVIOLET
[2022]



UR-100V
MAGIC T
[2023]



UR-100V
LIGHTSPEED
[2024]



UR-FREAK

技術仕様



品番

2413-500LE-2A-UR/3B

ムーブメント & 機能

自社製キャリバーUN-241
自動巻きムーブメント
時、分
自軸の周りを回転するフライングカルーセルムーブメント
サテライト式時刻表示
シリコン製大型オシレーターとヒゲゼンマイ
DIAMonSil製ガングリッド車とアンクル
グライナー®自動巻きシステム、ブレードテクノロジー
イエローのスーパーパーミノバ®を塗布したルテニウム加工ブリッジ
部品数263 / 石数25
振動数 3 Hz / 21,600 V/H

ケース

サンドブラスト加工チタン製ケースとベゼル
チタン製オープンサファイアケースバック
直径 44 mm、30 m防水
厚さ 12 mm

ストラップ & バックル

一体型イエローラバー「バリスティック」テクスチャーストラップ
一体型ブラックラバーストラップ
サンドブラスト加工チタン製デプロワイヤントバックル

リミテッドエディション

100本

価格

18,898,000円（税込）



NO BOUNDARIES. SINCE 1846.

ユリス・ナルダンは、技術革新と比類なきクラフトマンシップにより、絶えず限界を押し広げながらオート・オルロジュリーに革新をもたらすスイスの独立系メゾンです。1846年にスイスのル・ロックルで創業したユリス・ナルダンは、海洋探検に不可欠な高精度計時機器でその名声を確立しました。5世代にわたり、ナルダン家は世界で最も信頼性の高いマリンクロノメーターを製造し、これらは世界有数の海軍に信頼され、測地学、天文学、地球科学などの分野の科学者に重宝されてきました。

ユリス・ナルダンは、クロノメトリー、自社製ムーブメントの開発および素材の研究開発において革新をリードし、4,300以上の技術とデザインの賞を受賞してきました。また、マニュファクチュールは、ジャックマール・オートマタを搭載した初めてのチャイム機構時計や、「アストロラビウム・ガリレオ ガリレイ」、そしてリューズで前後調節が可能な世界初の永久カレンダーなどの画期的なタイムピースを世に送り出しました。シリコンを時計製造に初めて採用した先駆者であるユリス・ナルダンは、さらに革命的な表面処理技術であるDiamonSil®を開発しました。

2001年に登場した「フリーク」は、高い技術力と卓越したクラフトマンシップを融合し、ユリス・ナルダン独自の哲学を体現しています。それから20年以上の時を経て、「フリーク ワン」はジュネーブ・ウォッチメイキング・グランプリで「アイコニックウォッチ賞」を受賞しました。

姉妹メゾンのジラール・ペルゴとともに、初の独立系時計マニュファクチュール集団を形成しているユリス・ナルダンは、常に時計製造の限界を押し広げ、豊かな伝統を持つブランドとしての期待を再定義し続けています。世界中にブティックを展開し、ジュネーブ、シリコンバレー、ドバイ、上海に旗艦店を構えています。

ULYSSE-NARDIN.COM





URWERK®
BY BAUMGARTNER + FREI

「当初から、従来のグランドコンプリケーションに囚われないことを明確に選択してきました」と、ウルベルクの共同創設者である時計職人フェリックス・バウムガルトナーは説明します。「私たちの目標は、常に時計製造の伝統的な枠組みを打ち破ることでした。私たちの作品は、そのひとつひとつが独創的な作品として構想されています」この哲学は、ウルベルクのチーフデザイナーであり共同創設者のマーティン・フレイにも共通しています。「私は、創造性に制限のないバックグラウンドで育ちました。伝統的な時計製造の制約から解放されていることで、自分の文化的遺産から制限なくインスピレーションを引き出すことができるのです」

1997年に創業したウルベルクは、今日では独立系時計メーカーのパイオニアとして認知されています。年間わずか150本の時計を製作するウルベルクは、最先端技術と先鋭的なデザインが融合する、真の職人の実験室のようなブランドです。ウルベルクのクリエーションは3つのラインで構成されます。精度と先駆的な機構の実験場となる「クロノメトリー」コレクション、ワンダリングアワー機構が時間の認識を再定義するウルベルクの象徴である「アワーサテライト」ライン、そして大胆な実験と革新的なアイデアのための場である「スペシャルプロジェクト」です。

ウルベルクの時計は現代的で複雑、他に類を見ない存在でありながら、高級時計製造の最高基準——独自の研究、先進的な素材、そして細部にまでこだわった手仕上げ——に忠実であり続けています。

ウルベルク (URWERK) という名は、古代と前衛性の両方に敬意を表しているものです。シュメール人が初めて記念碑の影によって時間を計測した地であるメソポタミアの都市ウル (Ur) に由来するとともに、ドイツ語の「ウル (Ur: 原初の / 起源の) 」と「ベルク (Werk: 仕事 / 機構) 」を組み合わせた造語です。この二つの言葉を組み合わせることで「本来のメカニズム」と意味を持たせ、時間という概念の再構築に情熱を注ぐブランドとして誇らしいエンブレムを表現しています。

URWERK.COM

